

感動の2日間 ---2月28・29日の記録



「はだかっ子」は、良かった！泣いた！懐かしい！また見たい！---と、絶賛のアラシ。初めこの映画にや気乗りしなかった。色褪せた古い映画の再上映、ガキンチョの話、狭山の昔の景色？おまけに、1個のシネスコレンズに3巻のフィルム。これで画面の繋ぎはどうなる？一時はタオルを投げかけた。

それが何と、フタを開けてみりゃ大成功！だから映画はオモシロイ。だが胃潰瘍寸前の、こちらの余命が縮んだことも確かである。

映画「はだかっ子」上映統括 本多 数義

ひなの節句も近いので、おひなさまを作る体験教室を開き、2日間延べ33人の参加がありました。

ちりめん布をボンドではり合わせ、中にボブリを入れるとかわいいおひなさまが思ったより簡単に出来上がったと、満足していただきました。

当会では、今まで展示部門で参加していましたが、見ていただくだけでなく、一緒に作る楽しみも味わってもらえ、良い体験ができました。

「お雛さまの制作体験」担当 市民美術協会 角川 照江



「邦楽の祭典」(2月29日)

第4回「狭山市民芸術祭」のアンケート200名以上の方から貴重なご意見が寄せられました。映画「はだかっ子」や「絵草紙さやま」「邦楽の祭典」などへの賛辞が多く寄せられるとともに、大ホールでの観客動員方法や若い世代の出演への期待、展示の作品数や芸術性、文化祭的な発表方法への批判等、さまざまな意見が寄せられました。

来年の5周年記念「市民芸術祭」に向けて、生かされることと思います。

(文責 広報委員会 角南 一成)

所管が生涯学習課に

文団連の行政側所管が、新年度から国際文化課から教育委員会・生涯学習課に変更となります。文団連への入会等のお問合せは「生涯学習課・生涯学習担当」に。

・電話：04-2953-1111 内線5673